

〈楷書〉

（この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする）

清原大龍先生書

窓竹閑陰秋水薄
砌苔新色曉嵐鮮

〈行書〉

井之上南岳先生書

窗竹閑陰秋水薄
砌苔新色曉嵐鮮

□ 窓竹閑陰秋水薄^{ませ}り。砌苔新色曉嵐鮮かなり。（唐枢）

窓にそうした竹の小かげには秋の水が迫りきたるが如く、敷石に蒸したる新苔の色は曉の山気が侵して美しい。

次号予告「夜窓燈影分書幌 午榻茶烟颺鬢絲」

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書

いつしかと 者^はき農盤^のむ介^の 可^か多^たより二^に 楚^そ、や秋とそ 可^か勢^せもきこ遊^ゆる
いつしかと 萩の葉むけの 片^かよりに そそや秋とそ 風も聞ゆる

□ いつしかと 者^はき農盤^のむ介^の 可^か多^たより二^に 楚^そ、や秋とそ 可^か勢^せもきこ遊^ゆる
△新古今和歌集二八六（崇徳院）▽

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）

吉田成美先生臨

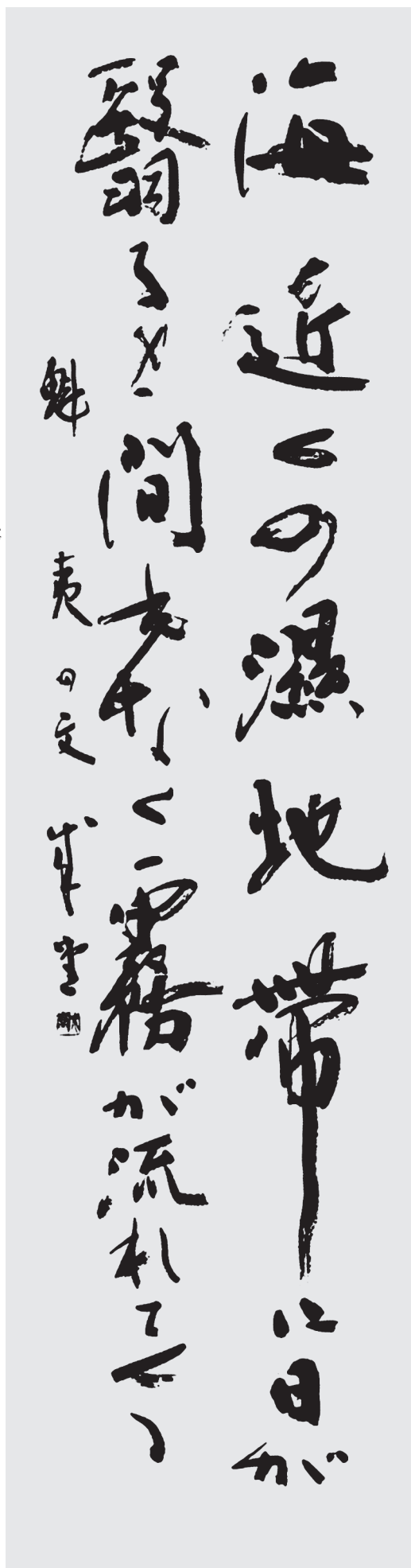
大理少卿公臣細必
察同張季之聽理寬

▽ 皇甫誕碑

大理少卿公臣細必察同張季之聽理寬

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

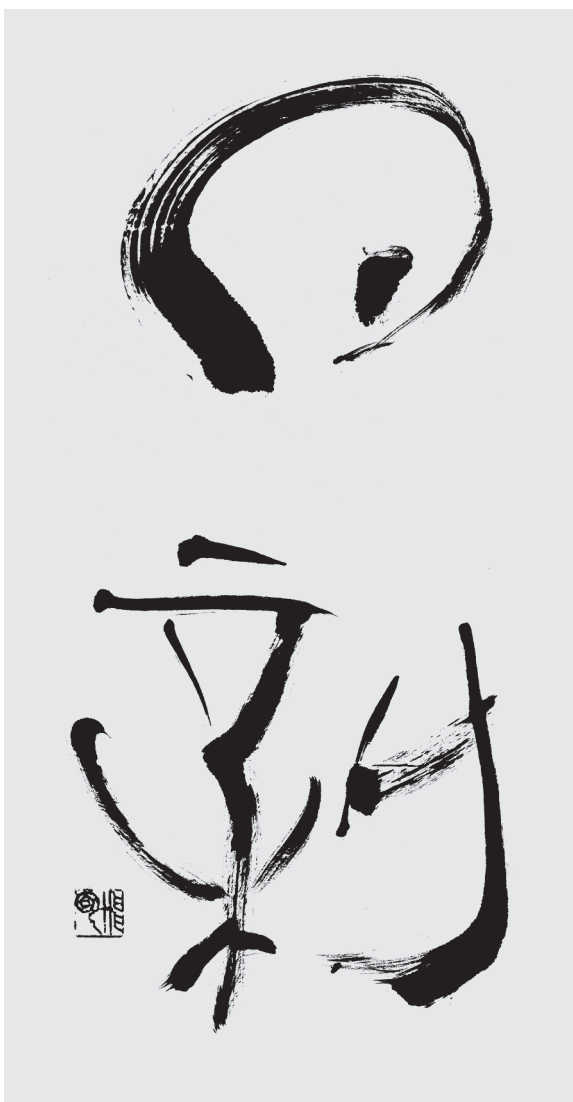
吉田成堂先生書



□ 東山魁夷の文

海近くの湿地帯に 日が翳ると 間もなく霧が流れてくる。

条幅随意（半折 $\frac{1}{2}$ 縦のみ）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



山本飛雲先生書

□ 日新

○ 古いことやよくないことを改め、日々に新しくすること。昨日を振り返り、それを超える今日にすること。― 禅林名句墨場辞典 ―
○ 金文に拠を求め、リズムに乗って 一気呵成に書きました。

《手本（課題例）にとられず意欲的な作品を期待します。》

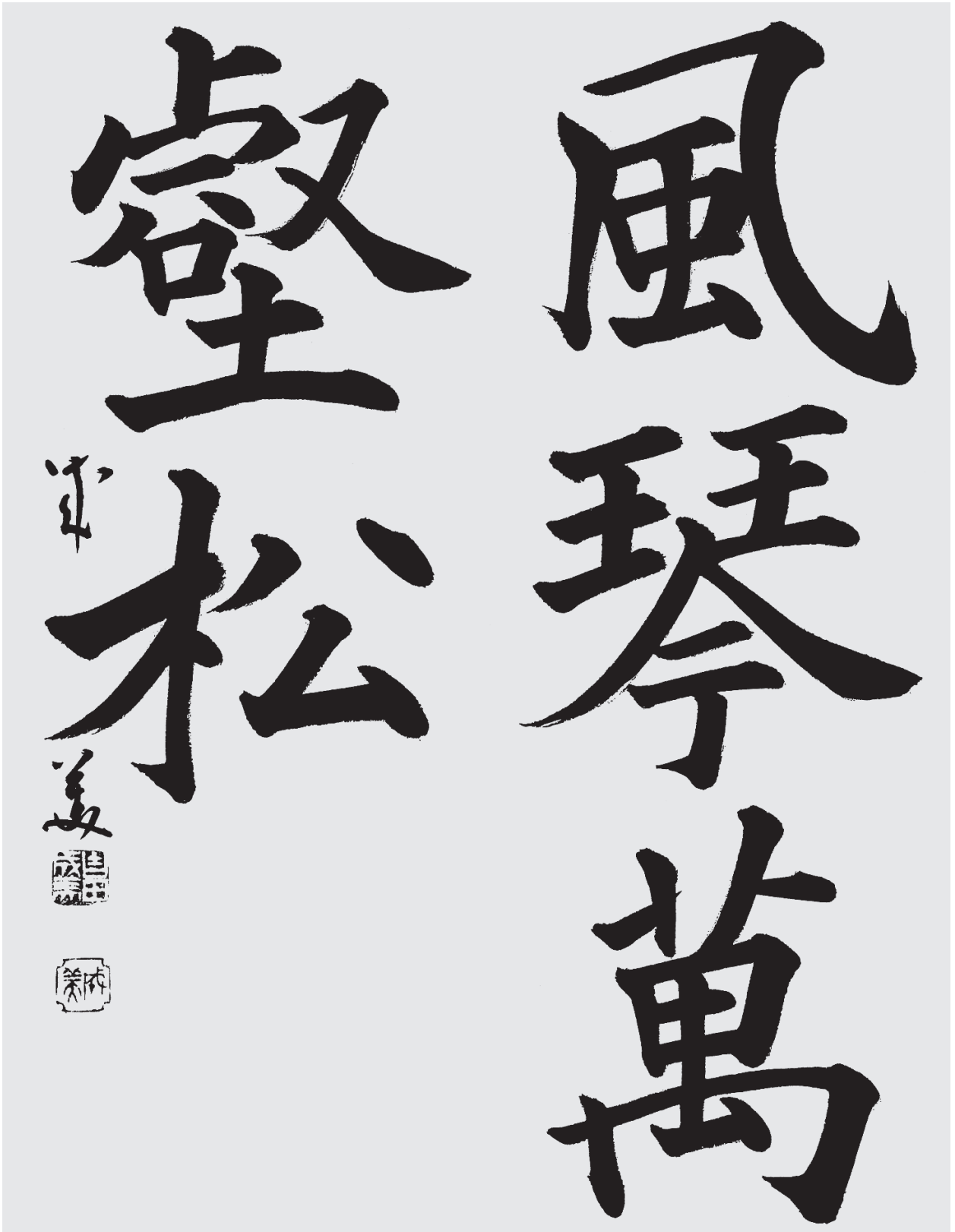
半折作品は各課目ごとに横 $\frac{1}{2}$ に一枚ずつたんで提出ください。

条幅随意（半折 $\frac{1}{2}$ ）漢字・詩文書の手本は、各月交互の掲載となります。

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 風琴万壑の松 (劉仙倫)

風がかなでる琴の音は 多くの谷の松を吹いて生ずる。



次号予告「野菊淡秋心」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 風琴万壑の松 (劉仙倫)

風がかなでる琴の音は 多くの谷の松を吹いて生ずる。



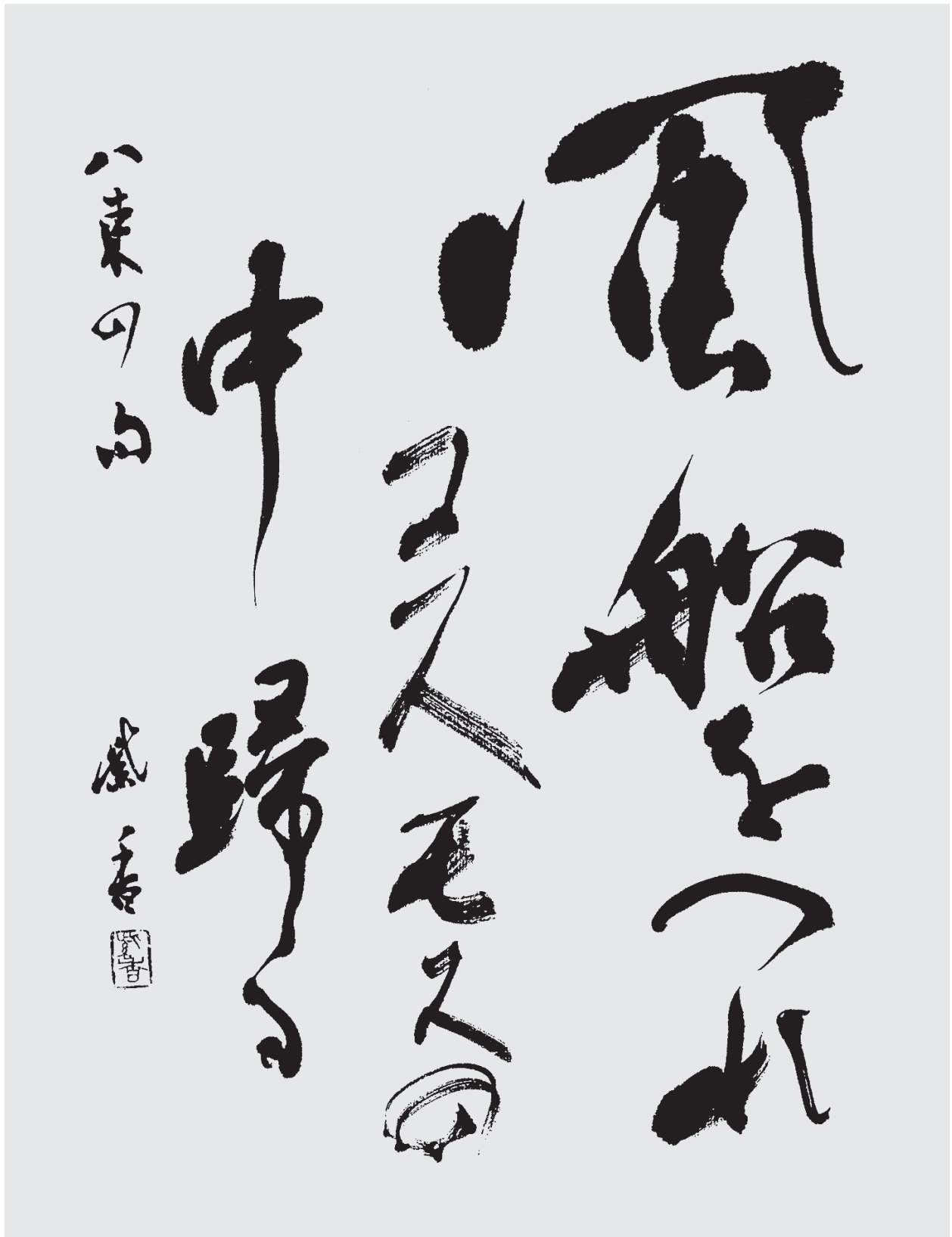
次号予告「野菊淡秋心」

吉田成美先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の漢字・詩文書の手本は、各月 交互の掲載となります。

△詩文書▽
風船をつれコスモスの
中帰る
△石原八束の句▽



坂 元 紫 香 先 生 書

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）

▽ 皇甫誕冊

張季之聽

成美先生

張季之聽

「張季之聽」

△ 臨書 ▽

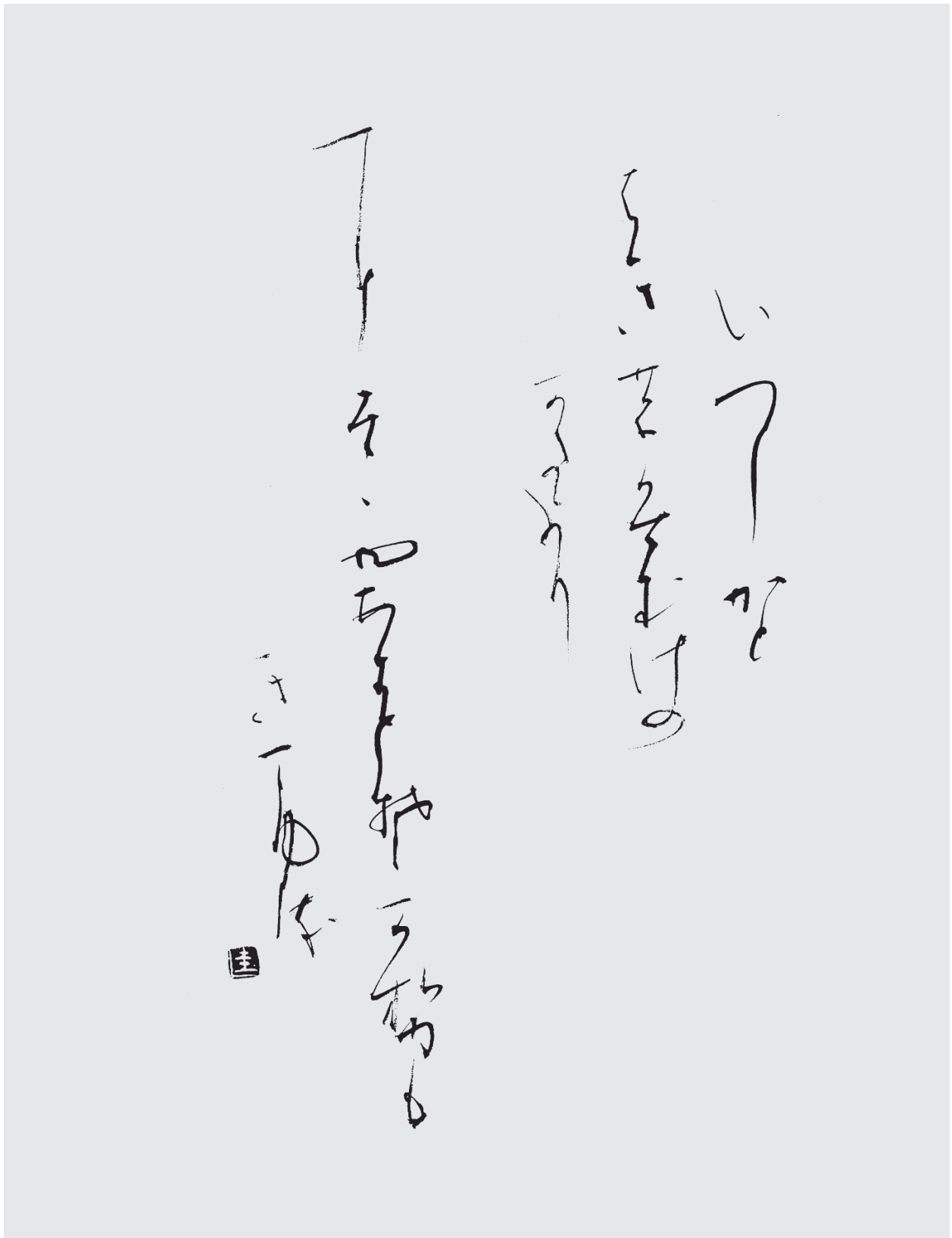
リズムに乗った勢いのある線と懐の明るさを表現しよう。

吉田成美先生臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△飯名▽

いつしかと 者^はき農^の盤^はむけの 可^か多^たより耳^に そ、やあ支^きと楚^そ 可^か勢^せもきこゆ^る流



いつしかと 萩の葉むけの 片よりに そそや秋とそ 風も聞ゆる

舟尾圭碩先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の実用書・手紙文の手本は、各月 交互の掲載となります

△実用書▽

長月 秋櫻 初秋の候 秋分 野菊 重陽の節句 白露
秋刀魚 野分の季節 燃えるような彼岸花が道端を彩る

姓 号

燃えるような彼岸花が道端を彩る	白 露	秋 分	長 月
	秋 刀 魚	野 菊	秋 櫻
	野 分 の 季 節	重 陽 の 節 句	初 秋 の 候

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

書譜

△暮らしに役立つ書▽

元氣いっぱい男の子の出産の便りが届きました。心よりお祝い申し上げます。お二人のご両親には、初孫のご誕生で喜びもひとしおのこと、存じます。私も安心いたしました。落ち着いた頃に、顔を見に伺いますね。お母さんになった貴女に会えるのも、楽しみです。まずは、産後のお身体が大事になさってください。

慶子

野のある便箋に書いてみよう。△26cm×18cm▽紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

兵頭白慧先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目 A・B のいずれか一点のみとする)

段 級	
氏 名	

教え子の高校三年生からたよりをも
らった先生が一読して驚いたそうだ。
「秋も段々深まりました。姉も段々色
づきました。柿を姉に間違えたらしい。
若い世代の漢字力を案じてしまう。



一般の方も是非チャレンジしてください。

(この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。)

村の祭り

小学4年

花の山車

小学3年

ひまわり

小学2年

ほーこ

ようねん・小学1年

世界遺産

中学2・3年

伝統文化

中学1年

提灯の光

小学6年

記念日

小学5年

秋永春霞先生書

△条幅¼||四尺画仙紙半折¼: 68cm×17.5cm▽

ようねん・小学一年

次号予告「わら」

ほこ

□「ほ」の「むすび」は、筆の軸だけをまわさないように気をつけましょう。

小学二年

次号予告「おみこし」

わりま

□筆を軽くにぎって、腕全体で伸びやかに書きましょう。

坂元紫香先生書

小学三年

次号予告「水玉」

山車

□「山」は左右の空気に注意し、「車」は横画を等間かくを意識してバランスよく書こう。

小学四年

次号予告「知る」

祭り

□穂先の向きや「左払い」「右払い」「ハネ」の筆使いに気をつけて伸びやかに書こう。

吉田成美先生書

小学 五年

次号予告「登山」

記念

□「記」は横画をや、右上がりに。「念」は上下のバランスに気をつけて、払いを長めに。

小学 六年

次号予告「創造」

提灯

□「提」は最終画の右払いを伸び伸びと。「灯」は「丁」をしつかり強めに書きましょう。

秋 永 春 霞 先 生 書

中学 一年

次号予告「挑戦」(行書)

文化

□文字の配置、画数の多い文字と少ない文字との調和に注意して、明るく伸びやかに書こう。

中学二・三年

次号予告「荒城の月」(行書)

世界遺産

□画数の多い字と少ない字のバランスに注意し、点画の流れを意識して筆脈のある作品にしよう。

吉 田 成 美 先 生 書

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

小學三年

[illegible]

く と 糸系ハ
糸系公
糸系念(その)

言語重運動

小学五年

便利(べんり)
イ、何便【つき出ない】
一、千禾和利
「はねる」「右から左くはらう」はねる
一、十士考考

小学四年

小学六年

光のあみが底の白い岩の上で、			
美しくゆらゆらびたり縮んだ			
りしました。あわや、さななみか			
らは、はっぱがけの棒が、なな			
めに氷の中に並んで立ちました。			
段 級		氏 名	

ひき出ない ⑨まっすぐ下におろす (ちち) 糸 縮 縮 十 糸 棒 棒 棒 (ぼう) ヌ ヌ 平 平 並 並 ⑩間をあける

昼すぎには、きれいな溪流に沿って			
山路へかかりました。美しく、青空、			
桃の花が咲く山村橋の上からはあ			
ゆの泳ぐのが見られます。生まれて			
初めて見る、それは桃源郷でした。			
段 級		氏 名	

い い 浮 浮 浮 溪 (けい) 木 村 村 村 桃 (もも) ⑪ななめにうつ ヌ ヌ ヌ ヌ 初 初

小 畠 秋 聲 先 生 書